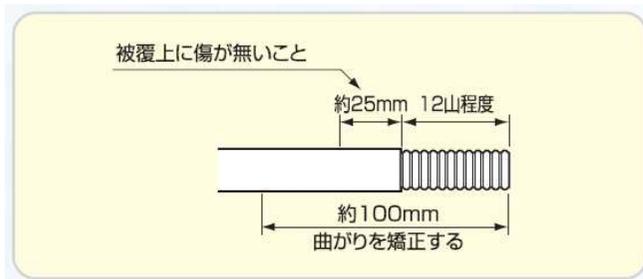


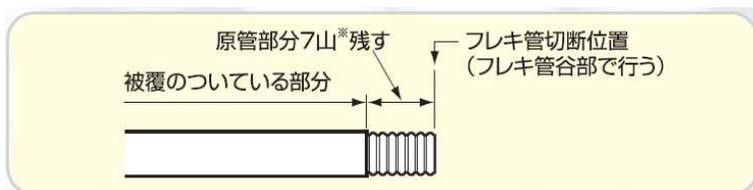
①被覆の剥離

12山程度被覆を剥離する。
(15A・20A : 目安,約50mm)



②原管の切断

※原管を7山残して谷部で切断する。
(6山も施工可能です)

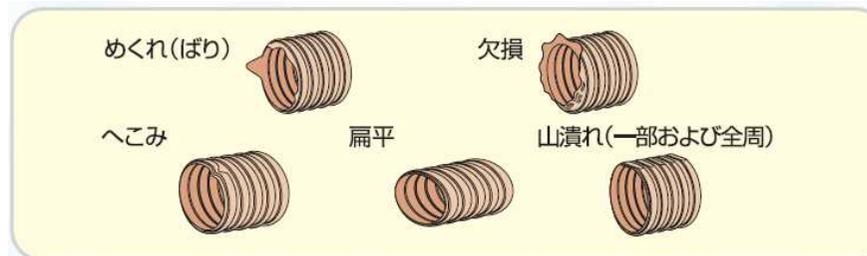


③継手接続 (ねじ付きの場合)

継手をヘッダー、ガス栓等にねじ込んで接続する。

裏面もご参照ください

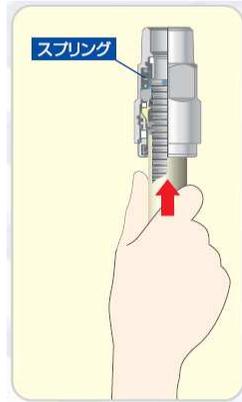
- ⚠ **注意** ・剥ぎ取り前にフレキ管先端から約100mm部分の曲がりを矯正してください。曲がっていると切断不良や挿入不良の原因となります。
- ⚠ **注意** ・専用の被覆カッターを使用し、12山程度被覆を剥ぎ取ること。他の工具を用いますとフレキ管に損傷を与え、施工不良や気密不良の原因となります。
- ⚠ **注意** ・剥ぎ取り部から約25mm以内の被覆上に傷がないことを確認すること。傷があると水密性が損なわれる恐れがあります。
- ⚠ **警告** ・フレキ管の一部が切れずに残った場合には、折るようにして切り離してください。フレキカッターは、切断時にフレキ管とフレキカッター本体が接触して損傷を与えないものを使用し、切断後、切断面およびフレキ管先端から5山間に下図のような めくれ(ばり)、欠損、へこみ、扁平、山潰れ等の原管の変形や傷付きがないことを確認してください。気密部のゴムに傷を付けたり、フレキ管に変形や傷付きがあると挿入不良及び気密不良の原因となります。



- ⚠ **注意** ・被覆が浮いていないことを確認してください。被覆が浮いていると挿入不良の原因となります。
- ⚠ **注意** ・フレキ管を継手に挿入後に、継手をねじ込む場合は、以下の事項を遵守ください。
 - 「フレキ管が真っ直ぐの状態であること」
 - 「フレキ管に引っ張りや曲げの力が掛かっていないこと」
 - 「継手のねじ込み以上に回さないこと」
- ⚠ **警告** ・他の部品と接続する管用テーパねじ部にはシール材を使用してください。使用しない場合は、気密不良の原因となります。
- ⚠ **警告** ・接続は、継手本体の六角部にスパナまたはフレキ管継手レンチ等を使用してください。パイプレンチは使用しないでください。また、モンキレンチまたはモーターレンチを使用する場合は継手六角部とレンチ開口幅にガタツキがなくなるように調整してください。ガタツキがあると継手本体が変形しフレキ管が接続できない恐れがあります。

④フレキ管の挿入

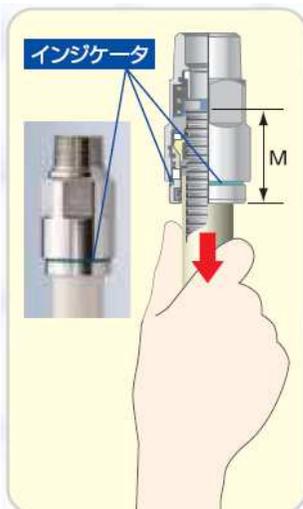
フレキ管を継手に挿入し、「コツン」という感触が手に伝わるまで、強く奥まで挿入する。



フレキ管が継手奥に突き当たる時に、音または感触によりフレキ管が挿入されたことが確認できます。

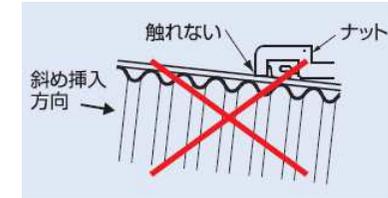
⑤接合確認

フレキ管を「カチッ」という感触があるところまで、挿入時と同じくらいの力で真っ直ぐ引っ張り、インジケータが出ていることを確認する。



フレキ管が挿入不足の場合、インジケータが出ずにフレキ管が抜けます。そのときは改めて「④フレキ管の挿入」の作業をやり直してください。

⚠ 注意 ・フレキ管がナット内面に触れないよう管軸に対し真っ直ぐに力を加える。過度の斜め挿入はシール部を傷つける恐れがあります。



⚠ 警告 ・フレキ管長さに余裕がない状態やテンションがかかった状態で継手に挿入しないでください。斜め挿入や挿入不足などの施工不良および気密不良の原因となります。

⚠ 警告 ・接合確認の際、極端に斜めに引っ張らないでください。挿入不足の場合でもインジケータが誤って出る可能性があります。

⚠ 警告 ・接続空間が十分でない狭い場所など、フレキ管端部を真っ直ぐにして接続できない場合、正常な接続ができずフレキ管の抜け出しの原因となります。そのような場合は、配管ルートを見直してください。

もし、配管ルートの見直しが困難な場合は、事前に管を接続したあと継手をねじ込む方法、もしくは「⑤接合確認」後のフレキ管挿入長さを管理する方法があります。この時のフレキ管挿入長さ(M)の目安は下表となります。

呼び	10A	15A	20A
接合確認後のフレキ管挿入長さ(M)の目安	32	33	36

⚠ 注意 ・施工完了後はフレキ管を押し込まないでください。(分解時にフレキ管先端を変形させる恐れがあります。フレキ管を再使用する時は「②原管の切断」の作業手順に従い、フレキ管の変形部分を切断してください。)

⚠ 警告 ・インジケータ(継手分解用リング兼用)は外さないでください。外しますとナットが抜けて、気密不良の原因となります。

⚠ 警告 ・ガスを通して(開栓)以降は、継手やフレキ管を回転させるなどの外力を与えないでください。気密不良の原因となります。

⚠ 警告 ・燃焼器具取替え時は継手を回転しないでください。また、継手の再使用を禁止します。気密不良の原因となります。

⚠ 警告 誤った使用をした場合、死亡を含む重大な人的被害が発生する可能性があります。

⚠ 注意 誤った使用をした場合、人的被害や物的損害の発生する可能性があります。

<免責事項> 誤った使用方法、取扱上の不注意や風水害、地震、雷などの天災および火災、公害(特殊環境)、塩害、戦争、テロなどの不可抗力、その他、当社責任と認められない損害には、当社は一切責任を負いません。